

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

「先生の夏休み」

いよいよ小中学校の夏休みも終わり、2学期が始まります。日南の子どもたちの夏休みは充実した時間になっていたでしょうか。この原稿を書いているのは1ヶ月ほど前ですので、小学生は夏休みに入ったばかりですが、学習や部活動に燃えた子どもたち、レジャーなどで様々な体験をしてたくましくなった子どもたちもいたことでしょう。次号では、小学生を対象にした「サマースクール」の様子をお伝えしたいと思います。

さて、今回は小中学校の先生の夏休みの姿をお伝えしたいと思います。当然ですが、「夏休み」は子どもたちにとってのものであって、先生方はもちろん勤務日となっています。小学校ではボランティアの皆さんとともに子どもたちの補充学習を行ったり、中学校では生徒とともに駅伝練習や部活の指導に燃えたりしてあられます。また、夏休み期間中は、様々な研修会などが多数開催されています。県や町の教育委員会が計画する研修の他、学校独自で研修を実施したり、小中学校合同で研修会を行ったりすることもあります。学校教

育における学習内容等の基準となる「学習指導要領」が改訂され、新しい指導計画の準備なども進めておられるところです。

7月31日（水）

には、教育委員会の主催で「道徳」についての研修会を実施しました。道徳は、小学校では昨年度から、中学校では今年度から「特別の教科」になりました。子どもたちがじっくり考え、議論する道徳の授業づくりについて研修していただきました。8月5日（月）には、今年度日南町に来ていただきたい先生方に地域を知っていただきため、地域に出かけての研修会も行いました。これ以外にもたくさんの研修会がありました。先生方お疲れ様でした。

最後に、7月31日にはクラーク先生に代わる新しいALTの先生が来町されました。次号に登場予定ですので、お楽しみに。



にちなん子ども応援隊だより

No. 76



こんにちは。暑中お見舞い申し上げます。

今年度の1学期終業式は、中学校7月19日、小学校は7月30日でした。今年度は1学期が長い分、小学生は、しっかりプールでの活動が楽しめたことだと思います。また、1学期が長いため、すでに夏休みに入っている顔なじみの高校生がアフタースクールボランティアに来てくれて大喜びでした。

さて、今回は日南小6年生の「平和学習」について紹介します。

5月下旬、6年生は修学旅行で広島に出かけました。そして、呉市大和ミュージアム到着前の車中で、吉田校長先生はフッペルピアノにまつわる話※をされ、梅林きょう輔さんという名前を探してみましょうと投げかけられました。6年生は、バスを降りると、早速、戦艦「大和」戦没者慰靈碑に梅林さんの名前をさがし、見つけました。こうして、7月、三森不二夫さんをゲストティーチャーに招きし、「フッペルピアノの戦争と平和」の学習をすることになりました。

そしてもう一つ、ある戦没者家族の長く辛い体験を、粟田英機さんからお聞きしました。

子どもたちは、この2つの歴史的事実を知り、自分との関わりの中で平和について考えました。少し難しく感じた子もいたようですが、今後、日南町戦没者追悼式に参加したり、学習を積み重ねたりして、やがて平和を維持していく担い手となるよう願っています。

最後になりましたが、地域の皆さん、夏休み中の子ども達の見守りをありがとうございました。今後もよろしくをお願いいたします。また、2学期は、稻刈り、脱穀等のボランティアをお願いしたいと思います。日南っ子のよりよい成長にご支援をお願いいたします。



連絡先 教育委員会 0859-82-1118
コーディネーター携帯 080-5232-7712

※「戦時中、日野上小に勤務してあられた梅林きょう輔先生が、出征前、「感激の征途」(出征にあたって思いを詩に表す。作詞 梅林氏、作曲 田邊氏)を同僚の田邊先生のフッペルピアノの伴奏で歌われた。そして、梅林先生は、戦艦『大和』に乗り組み、敵機警戒任務。撃沈され戦死…」というものでした。フッペルピアノは、今は、日南町総合文化センターのホワイエにあります。

